



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



平成29年11月9日

上場会社名 ぴあ株式会社
 コード番号 4337 URL <http://corporate.pia.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括 (氏名) 吉澤 保幸
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5774-5278

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	86,225	11.1	674	37.3	680	37.5	442	39.7
29年3月期第2四半期	77,641	4.1	1,075	27.8	1,087	33.6	734	7.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 453百万円 (38.1%) 29年3月期第2四半期 733百万円 (6.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	31.38	
29年3月期第2四半期	51.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	44,981	7,453	16.4	526.18
29年3月期	42,776	7,975	18.5	555.68

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,379百万円 29年3月期 7,908百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		16.00	16.00
30年3月期		3.00			
30年3月期(予想)				17.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	1.4	1,800	0.6	1,800	7.2	1,200	23.2	84.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、決算短信(添付資料)9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	14,549,013 株	29年3月期	14,547,213 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	523,647 株	29年3月期	314,617 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	14,113,328 株	29年3月期2Q	14,376,084 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託(BBT)が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかに景気回復基調が継続しているものの、海外経済の不確実性などから、景気の先行きについては引き続き不透明な状況にありますが、国内レジャー・エンタテインメント市場におきましては、近年の増加トレンドを維持し好調に推移しました。

このような状況下、中期経営計画の最終年度にあたる当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、音楽・スポーツ等を中心とするライブ・エンタテインメント市場の活況を背景に、売上高はインターネットでのチケット販売が好調に推移し、期初予想以上に伸長するも、人気興行の獲得経費増による粗利幅の減少、販管費の増加やセキュリティ強化に向けた組織・システム両面での緊急対策費用等により、最終利益は4億42百万円にとどまりました。

以上の結果、当社グループの第2四半期の業績は、連結売上高862億25百万円(対前年同期比111.1%)、営業利益6億74百万円(同62.7%)、経常利益6億80百万円(同62.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億42百万円(同60.3%)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「Mr. Children」

「THE YELLOW MONKEY」

「Animelo Summer Live 2017」

「嵐のワクワク学校 2017」

「ROCK IN JAPAN FES. 2017」

「西野カナ」

「BABYMETAL」

「UVERworld」

「Hi-STANDARD」

「CNBLUE」

<商品>

「夏ぴあ」(首都圏版/関西版/東海版他)

「秋ぴあ」(首都圏版/関西版/東海版)

「食本」シリーズ(東京、立川、新潟、大津草津、奈良生駒、沖縄他)

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、449億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億5百万円増加いたしました。流動資産は403億68百万円(前連結会計年度末比18億12百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の増加(同32億30百万円)、受取手形及び売掛金の減少(同17億49百万円)であります。また、固定資産は13億55百万円(前連結会計年度末比4百万円増)となりました。

負債は、375億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して27億27百万円増加いたしました。流動負債は369億13百万円(前連結会計年度末比27億36百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同54億11百万円)、前受金の減少(同19億54百万円)であります。固定負債は6億14百万円(前連結会計年度末比9百万円減)となりました。

純資産は、74億53百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億21百万円減少いたしました。これは、主に配当金2億30百万円の支払による減少と親会社株主に帰属する四半期純利益4億42百万円の計上等により利益剰余金が2億13百万円増加したこと、自己株式の取得7億63百万円の支出により減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して32億30百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末は220億81百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは51億17百万円の収入(前年同四半期は21億19百万円の収入)となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が6億89百万円であったこと、売上債権の減少が17億93百万円であったこと、仕入債務の増加が54億11百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは8億80百万円の支出（前年同四半期は10億98百万円の支出）となりました。この主要因は、有形固定資産の取得による支出1億91百万円及び無形固定資産の取得による支出6億85百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは10億6百万円の支出（前年同四半期は3億73百万円の支出）となりました。この主要因は、配当金の支払による支出2億28百万円、自己株式取得による支出7億89百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,851	22,081
受取手形及び売掛金	17,013	15,264
商品及び製品	135	74
仕掛品	11	3
原材料及び貯蔵品	8	10
その他	2,564	2,960
貸倒引当金	△27	△25
流動資産合計	38,556	40,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77	73
工具、器具及び備品(純額)	593	512
土地	6	6
その他(純額)	4	—
有形固定資産合計	680	592
無形固定資産		
ソフトウェア	1,025	1,318
ソフトウェア仮勘定	1,102	1,287
その他	59	59
無形固定資産合計	2,187	2,665
投資その他の資産		
投資有価証券	752	747
その他	897	925
貸倒引当金	△298	△317
投資その他の資産合計	1,351	1,355
固定資産合計	4,219	4,613
資産合計	42,776	44,981

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,130	31,541
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	40	20
未払金	1,414	1,522
未払法人税等	462	318
賞与引当金	310	10
返品調整引当金	475	401
その他	5,244	3,000
流動負債合計	34,176	36,913
固定負債		
退職給付に係る負債	125	125
資産除去債務	63	64
その他	434	425
固定負債合計	623	614
負債合計	34,800	37,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,621	4,625
資本剰余金	792	806
利益剰余金	3,361	3,575
自己株式	△790	△1,553
株主資本合計	7,985	7,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	30
為替換算調整勘定	△61	△63
退職給付に係る調整累計額	△48	△40
その他の包括利益累計額合計	△76	△73
非支配株主持分	66	74
純資産合計	7,975	7,453
負債純資産合計	42,776	44,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	77,641	86,225
売上原価	71,434	79,883
売上総利益	6,206	6,341
返品調整引当金戻入額	431	475
返品調整引当金繰入額	296	401
差引売上総利益	6,341	6,415
販売費及び一般管理費	5,265	5,740
営業利益	1,075	674
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	7
諸債務整理益	21	1
持分法による投資利益	—	4
受取保険金	7	0
その他	1	1
営業外収益合計	36	14
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	21	—
有価証券評価損	—	2
その他	0	4
営業外費用合計	25	9
経常利益	1,087	680
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別利益合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	1,087	689
法人税等	346	238
四半期純利益	741	450
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	734	442

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	741	450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△2
為替換算調整勘定	△0	△0
退職給付に係る調整額	8	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	△1
その他の包括利益合計	△8	3
四半期包括利益	733	453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	726	446
非支配株主に係る四半期包括利益	6	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,087	689
減価償却費	297	373
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△261	△300
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△135	△74
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	7
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	3	2
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2
固定資産売却損益 (△は益)	—	△8
持分法による投資損益 (△は益)	21	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	1,293	1,749
たな卸資産の増減額 (△は増加)	62	66
前渡金の増減額 (△は増加)	△223	262
仕入債務の増減額 (△は減少)	65	5,411
未払金の増減額 (△は減少)	258	218
前受金の増減額 (△は減少)	△18	△1,954
その他	△182	△991
小計	2,260	5,458
利息及び配当金の受取額	8	8
利息の支払額	△3	△2
役員退職慰労金の支払額	—	△4
法人税等の支払額	△146	△342
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,119	5,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	—
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	9
有形固定資産の取得による支出	△319	△191
無形固定資産の取得による支出	△273	△685
長期前払費用の取得による支出	△5	△11
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,098	△880
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△40	△20
新株予約権の行使による株式の発行による収入	18	—
配当金の支払額	△229	△228
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
自己株式の取得による支出	△110	△789
自己株式の処分による収入	—	35
その他	△12	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△1,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	647	3,230
現金及び現金同等物の期首残高	15,110	18,851
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,757	22,081

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。